



須崎工高

機械科

未来への不安と希望

古味 誉 17 須崎工業高3年

(須崎市多ノ郷)

自動車整備士という夢を明確に抱いたのは、小学5年生の時、中学2年生の頃には行きたい高校を決め、当時の担任教諭に専門学校の事についても教えていただきました。

声ひろば

志望していた須崎工業高

校に入学して2年がたち、

僕たちは半年以内に人生の

岐路に立ちます。僕は専門

学校を2校に絞り、そこに

合格できるように少しずつ

準備をしています。

しかし、専門学校やその

先にある就職について調べ

ていくうちに、不安感が出

て来ていました。自分はこ

の仕事を一生続けられるの

か、専門学校をしっかりと卒

業できるのだろうか。よく

言えば慎重、悪く言えば臆

病な性格の僕は、将来に不

安を抱きました。この性格

で得をした事は多々ありま

したが、今回ばかりは少し

恨めしく思っています。

そして両親は、この事に

気付いていたようで「もう

少し考えてみたら? 自分

に自信が持てるようになって

、気持ちの地についたら

全力で応援する」と言われ

ました。この時は親の鋭さ

に、少なからず驚きまし

た。現在は、できるだけ物

事をプラスに考えるように

して、不安感を無くせるよ

うに努力をしています。

僕の夢は何があっても変

えません。その自信を一つ

の土台にし頑張っていき、

須崎工業高校と3年機械科

の皆と胸を張って別れ、次

に向けて進めるように努力

していきます。

須工生 夢と希望の実現めざせ



努力に勝る

天才なし!